

## 本城・的場池公園内スポーツ施設 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日(月) 13:30~17:20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、  
則松構成員、南構成員
- (事務局) 都市ブランド創造局 スポーツ振興課  
スポーツ施設担当課長、施設管理係長、  
担当職員

### 4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
  
- 応募団体(株式会社スピナ)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑  
応答
  - (構成員) 本城も的場池も施設が老朽化している。今回、指定管理者として新たに5年間取り組む場合、提案した中で注力していきたいと思う点があるか。また、提案の中にトップアスリートに関する取り組みがあるがイメージはどのようなものか。
  - (応募団体) 設備管理について、当社は専門家集団であるため、早め早めに施設の不具合を発見し修繕を行うことで、大きな修繕費用が発生しないよう努めている。トップアスリートについては、オリンピック選手を北九州市から出そうという取り組みを考えている。実現可能だと思って取り組んでいきたい。
  - (構成員) ターゲット層別に広報手段を考えている印象を受けた。広告宣伝費について、紙、SNS、WEBなどの内訳を教えてください。
  - (応募団体) 広告宣伝費の内訳は現状決めておらず、細かい分類はしていない。受託をさせていただいたあかつきには、その辺もきっちりと最大限の効果を発揮できるよう話を進めていく。
  - (構成員) 本城・的場池の運営委員会を設置する中で、女性目線での施設運営を考えられているが、現状で女性が使いづらいと感じた点があるか。
  - (応募団体) 女性の使いづらさという点では、子供連れの方から使いづらいという意見があり、子供連れの方に寄り添った環境づくりをしていきたい。また、本城は、いろいろな大会が行われた際に男性と女性の

控室が入れ替わり、間違えやすいという意見があるため、ルール作りを行いたい。

(構成員) いろいろな講座を考えられているが、利用者からのアンケートにより決定しているのか、それとも社内で話し合われたものか。

(応募団体) 講座については、協力団体である北九州スポーツクラブ連絡会と連携している。講座の中身については、既存の講座を行っていく中で、利用者の方から希望があったものや、協力団体との協議により決定するものなど、いろいろなパターンがある。

(構成員) 提案書の「母へ贈るスープ」とはどのようなものか。高齢者向けの講座か。

(応募団体) 「ぶどうの樹」が実施しているフレイル予防の食育である。高齢者と高齢者の家族を対象と考えている。

(構成員) これから人件費が高騰していく中で、ベテランで高齢の職員と若い職員が効率よく仕事を進めていかなければならないと思うが、この点に関してどのような取り組みを行う予定か。

(応募団体) 高齢者の仕事の質はとても高いが、いつまでもやっていただくわけにはいかない。技術とノウハウの継承を当社の全社的な取り組みとして行っており、例としては、常日頃からシニアの従業員と話す場を設け、リタイアしたいと相談があった際は、早めに後任を入れるなどの提案をし、円満な引継ぎができるよう取り組んでいる。

(構成員) 本城公園の指定管理を共同事業体ではなく単独で行うにあたり、今回の芝生管理の提案は非常に素晴らしいと思う。しかし、提案書には本城陸上競技場のことのみ記載されているため、本城運動場の芝生管理についてはどう考えているか。

(応募団体) 運動場の芝生管理についても、陸上競技場同様、日本体育施設と連携して行う。

(構成員) 提案書に日本体育施設との連携が週1~2回程度の打ち合わせという記載があった。具体的に日本体育施設がどのように関与するか教えてほしい。

(応募団体) 芝生の業務委託という形で進める。日本体育施設には芝生のスペシャリストがおり、その方に週1で来てもらい、現地でワーキングスタッフを指導しながらミーティングをする形をとる予定である。

(構成員) SDGsの貢献について、「チャリティスポーツ教室」を実施する提案は、すごくいい取り組みだと思う。具体的に普段利用できない子供たちに対して、どういう告知をして、どうやってチケットを入手させていくのか。

(応募団体) チャリティでチケットを買っていただけたら参加者を募集する。普段買われている方も、そうでない方にも合わせて募集をかけ、お金の関係で参加できないことが分からないように配慮する。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。

- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

（構成員） ヒアリングした結果、社内で情報共有されており、地に足のついた提案であるという印象を受けた。提案ではトップアスリートを連れてきて教室を行うとのことであったが、トップコーチを連れてきたほうが効果的ではないかと感じた。

（事務局） 情報発信の手段はかなり具体的で深く考えられていた。自主事業やSDGsの取り組みは、魅力的で参加したいと心を惹かれる内容であった。

（構成員） 実績に基づく具体的な提案がなされていて、特に今回、今までと違う施設の構成での指定管理となるが、芝生の問題も含めて、しっかりと対応を検討されていることが窺えた。

（構成員） 説明からもしっかりと管理をしていきたいという意欲を感じた。市民向けの講座も、例えばネーミングひとつをとっても心をくすぐるような内容であり、単に体を鍛えるだけじゃなくて、食育などにも視野を広げて取り組んでいくところを評価した。

（構成員） 財政的にもしっかりとしており、経費についてもよく考えられている。全体的によく考えられている提案であるという印象を受けた。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。